8　芸術（書道）

学校番号	１０１５

令和２年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「書Ⅲ」　（教育図書）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道ⅠⅡの授業で学んだことを発展させて、書道Ⅲでは自分の興味関心に応じて学習を深めていきましょう。
・全臨作品を作ることでひとつの作品と向き合い、達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

月	題材名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期中間	蘭亭序	・代表的な古典である王義之蘭亭序の字形や用筆を深く学ぶ。	○		○	○	a：王義之の書と人について理解を深めようとしている。 b：蘭亭序の字形や用筆などの特徴をつかみ、書風を生かした表現を工夫する。 c：蘭亭序の字形や用筆などの特徴をつかみ、書風を生かした表現ができる。 d：古典の書美を理解し、表現技法を理解している。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
前期期末	蘭亭序全臨	・王義之蘭亭序を細字全臨を目標とする。	○	○			a：王義之の書と人について理解を深めようとしている。 b：蘭亭序の字形や用筆などの特徴をつかみ、書風を生かした表現を工夫する。 c：蘭亭序の字形や用筆などの特徴をつかみ、書風を生かした表現ができる。 d：古典の書美を理解し、表現技法を理解している。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
後期中間	表札づくり		○	○		○	a：表札に興味を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 b：　表札の手順に従い、刻し方や彩色など刻字の特徴を生かした表現を工夫している。 c：表札の準備と手順について理解し特徴を生かした表現をすることができる。 d：　表札の準備と手順を理解している。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

後期期末	・作品集作り	・興味のある古典の臨書作品や自作の言葉の創作作品を作り、裏打ちして冊子を制作する。		○	○	○	a:自己の意図に基づき、様々な表現を試みることに意欲的に取り組んでいる。 b:感興や意図に応じた表現を構想し、工夫している。 c: 感興や意図に応じた表現を構想し、工夫している。 d:用具用材の用い方や構成の工夫などにより様々な表現が可能であることを理解している。	観察 提出作品